

令和6年度学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立秋留台高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長（事務局長）1名、教務主任1名、
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長（2名）、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、総務保健部主任
養護教諭 計9名
- (4) 協議委員の構成
PTA 会長、市教育委員会教育長、学識経験者、近隣中学校校長、近隣施設長、地域青年会議所理事
長、地域商工会事務局長、教育支援団体代表 計8名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会

第1回 令和6年5月17日（金）

校長及び分掌主任による学校経営計画・分掌経営計画の説明を元にした協議

出席者：内部委員8名・協議委員5名

第2回 令和6年10月18日（金）

校長及び分掌主任による学校経営・分掌運営についての中間報告

学校評価アンケートについての協議

出席者：内部委員8名・協議委員5名

第3回 令和7年3月19日（水）

学校評価アンケート集計結果・分析に対する意見、協議。

出席者：内部委員7名・協議委員6名

(2) 評価委員会

第1回 令和6年5月17日（金）

学校経営計画・分掌経営計画、学校評価アンケートについての考察

出席者：内部委員2名・評価委員2名

第2回 令和6年10月18日（金）

学校評価アンケート項目及び進捗スケジュールについて協議

出席者：内部委員2名・評価委員2名

第3回 令和7年3月19日（水）

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理。

出席者：内部委員2名・評価委員2名

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点 「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

- ・ 1 2 月 全校生徒 回収率 8 7 % (昨年度 8 5 %)
- ・ 1 2 月 保護者 回収率 3 3 % (昨年度 2 0 %)
- ・ 1 2 月 地域住民 回収率 9 0 % (昨年度 1 6 %)
- ・ 1 2 月 教職員 回収率 1 0 0 % (昨年度 1 0 0 %)

(3) 主な評価項目

- ・ 学習指導、生活指導、進路指導、学校生活、ライフ・ワーク・バランス、その他

(4) 評価結果の概要

(ア) 回収率

- ・ 概ね昨年度より上昇した。地域住民からの回収率は、大幅に向上した。教職員からの回収率は、昨年度に引き続き 100%であった。

(イ) 結果分析

①学校評価アンケートによる「授業満足度」は、86%で昨年度より 2%向上。「授業で基礎基本の学力が身に付いた」は 86%。また、②「授業の教材や指導方法を工夫しているか」は 85%と昨年度とほぼ同様であった。昨年度の課題であった、③「ベーシックの学び直しは役だっているか」は、昨年度の 74%から 78%に向上。これらの結果から、⑤⑥「ICT を活用し、分かりやすい授業を展開し、相互授業見学を通して授業改善を図っていく」という目標が徐々にではあるが成果として出てきている。④検定に関しては、「スキルアップ推進校」として、教育課程に位置付け、年間を通じて講習を実施してきた。今年度は、学年で「リテラス（論理言語能力定）」に取組合格者が 63 名であった。英検は、合格者は横ばいであり、次年度の課題となった。

⑦進路決定率は 96.5%、⑧「学校の進路指導は充実しているか」は 86%、⑨「教員が個別の進路相談に応じているか」は 91%。今年度も進路に関しては比較的高い評価を得ることができた。課題としては、大半の生徒が推薦で行くので、次年度はもう少し早い時期から学校全体で面接指導等を実施していく。

⑩は 91%、⑪は 91%、⑫は 93%、⑬は 93%と昨年度とほぼ同様であった。今年度も大半の生徒が、授業規律、通学のルール、SNS や情報のモラルを守っている
と回答しているが、残りの 10%近い生徒が守られていないと回答している。教員の指導や支援だけではなく、生徒の自主的な変容がみられるよう、生徒会や各種委員会、保護者にも協力を得て学校全体で取組んでいく。

⑭は 80%、⑮は 84%、⑯は 66%で昨年度とほぼ同様であった。学校行事に関しては、内容を精査し、生徒が主体となるよう学校行事を変えていく時期に来ている。⑰体力テストの平均値以上は難しいが、体育大会やマラソン大会は、生徒が目標を持って取組むことができた。⑱「図書館が、日常の学習や情報収集に役だっている」は 75%であり、昨年度よりも 7%減少した。利用の格差が生じているため、次年度は利用率の活性化に向けて、学校全体で取組んでいく。

⑲推薦の倍率 1.75 倍、前期倍率 0.86 倍と昨年度の高倍率から一転して低倍率となった⑳HP 更新回数は 361 回、㉑学校説明会来校者数は 1558 名と昨年度より 422 名減った。今年度も本校の特徴である、「ベーシック」の授業体験や生徒によるプレゼンテーション等を行い、学校見学会・学校説明会も早くから始め、中学校への母校訪問等を行うなど、かなり広報活動に力をいれてきたが、倍率の増加にはつながらなかったことが次年度に向けて大きな課題である。地域貢献として、月に一度、五日市保育園と連携したフードパントリーを引き続き実施。また、秋には、秋留台公園で行われるユニバーサルスポーツ祭・ローズフェスタ、あきる野市の音楽の祭典に生徒会や各部活動（和太鼓・吹奏楽部・コーラス部等）が積極的に参加し、地域からの信頼を得た。

㉒学校運営連絡協議会で分掌の組織目標・中間総括・年度末総括・学校評価アンケートの結果に対して、様々な建設的な御意見をいただき、学校改善に努めてきた。特に学校評価アンケートにおける地域からの回答率が昨年度の 6%から 90%へ大幅に向上したことは大きな成果である。㉓61%、㉔98%以上達成。㉕事故等はゼロ ㉖年間 15 日以上のお休み取得率は 76%。勤務時間外の在校時間が月 45 時間超の延べ人数は 260 人であった。昨年度に続き月 1 回の定時退庁日を設定するとともに、年次有給休暇 15 日以上取得するよう促してきた。「ライフ・ワーク・バランスを意識して業務に取り組んでいるか」が前年度（63%）より向上したものの、77.7%で課題が残る。また、「各学年・分掌が協力して意思疎通を図りながら職務遂行しているか」に対しては、昨年度の 85%から 91.1%へ向上したことは組織活性化につながった。

2 次年度以降の課題と対応策

進路に悩む生徒が多いため、1年生から各方面の専門家からアドバイスを受けながら、「チーム秋留台」として進路に対する意識を向上させていく。特に、次年度は進路指導部と各学年との連携を強化していく必要がある。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

【学習・進路について】

5 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

- ・直接的に尋ねていないが、あらためて本校のよさを協議会の中で協議委員が述べていたことから、「学校がよくなった」と考えていることが推察できた。

6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

- ・参加実績無し。
- ・学校運営連絡協議会開催日と、職員会議及び企画調整会議の日時が合わなかった。事前に調整し、参加できるよう調整する必要がある。

以上